

きたすま

わたしを信じる者は、死んでも生きる（ヨハネ 11・25）

No.201（4月号）

2020年 3月 29日発行

発行 カトリック北須磨教会

〒654-0151

神戸市須磨区北落合 2-3-1

発行人 高橋 聡

編集 広報委員会

主のご復活おめでとうございます

高橋 聡 神父

しかし、今年のお四旬節を振り返ってみますと、新型コロナウイルスのさわぎの中ミサが中止となる前代未聞の出来事が起こりました。そして今、この原稿を書いている時点では4月の御ミサがどうなるのか未定の状態にあり、先行きも不透明なままです。

このような異常事態に、日ごとのいけにえが廃止されるというダニエル書の御言葉を思い出しました（12：11〔新共同訳〕他にルカ21：11）。しかし皆さんがミサに来れず家で祈りされている間も、司祭たちは皆さんのためにミサや教会の祈りなどでお祈りされていたと思います。ミサは一人で立てられても、すべての人々のためにささげられています。

今回のこの事態に皆さんは何を思い何を感じられたのでしょうか。何か不安が増していった人もいるかもしれませんし、教会の対応に疑念や失望をもった人もいたかもしれません。

様々な受け止めがあり、教会の行事や活動はどうなるのという疑問なども伺いました。

今回の出来事を通して、神さまは私たちに何を示そうとしておられたのでしょうか。そのことは私たち一人一人が信仰を見直すうえで、大切な質問ではないかと思えます。人それぞれに解答も異なるかもしれませんが、問うてみる価値はあ

ると思います。

一つ次のことを考えてほしいと思います。私たちは人生のある時点で一病気や老齢で一もうほとんどミサに参加できなくなるであろうということです。けれども神さまもそのことがわかっておられますし、私たちはそのようなハンディの中でも神と共に歩むことは可能であるとかかっています。

私たちにとってミサの他にも、個人の祈り、家庭の祈り、信心業などの祈りは、いかに大切なことでしょうか。

ミサは、神さまが私たちのところに来られる場でもありますが、同時に私たちが日々生きてきたこと、祈ってきたことを一つにまとめて主・キリストを通して父なる神にささげる場でもあります。

信仰に生きるために、ミサだけでは私たちに不十分かもしれません。かつて日本において司祭がまったくいない環境で、ミサが待ち望まれていましたが、それは個人や家族の祈り、信心業の祈りによって準備されました。



寄稿 クリスチャンセンター神戸バイブル・ハウス2回目の聖地イスラエルの旅

KM

2020年1月11日昼前、アメリカとシリア派のいざこざによって、中東の政情が不安定な中、一路パリ・シャルルドゴール空港に向かって関西国際空港を総勢50名で出発。



パリからテル・アビブへの便も含め、一席の余地も無く、満席であった。出発から、約20時間を経て、イスラエルへの入国審査を完了した時には、現地時間で、午前0時2分となっていた。1月12日は、主の洗礼の主日であり、中東聖公会のエルサレム教区のカテドラルである聖ジョージ教会で聖餐式にあずかり、イエスの足跡を辿る旅をスタートさせた。今回は、エルサレムからのスタートであったので、丁度イエスの生涯の逆を辿った形となる。ヴィア・ドロローザを辿って、聖墳墓教会の中にあるゴルゴタの丘と聖墳墓等を見学し、イスラエル滞在第一日目を終えた。前回と同様、もう少しゆっくりと、周りたかったと言

うのが本音である。

第二日目は、主が天に昇られた場所に建つ昇天教会、主の祈りを授けられた主の祈りの教会を経て、主の泣かれた教会（何れもオリブ山）で、松浦信行神父の司式で、本旅初のプライベートミサを捧げた。その後、ゲッセマネの園と万国民の教会、聖母マリアの生誕地に建つ聖アンナ教会、嘆きの壁を見学して、最後の晩餐の部屋、鶏鳴教会へと足を進めた。ここで、大きな疑問として残ったのが、最後の晩餐の部屋。スタンドグラスとシャンデリヤの懸かる



ビザンチン風の
内装の部屋。聖書

にあるごとく2階ではあったが、如何にも垢抜けた部屋であった点などを考え、絶対に違おうと思った。12年前に連れていかれた所は、窓枠も無い洞窟の様なケデロンの谷から少し上がった場所であったと記憶する。ただ、ケ

デロンの谷からエルサレムに上がる道は、崩れかかっており、今は通行できない。行ったと思う洞窟には行け無いのである。最後の晚餐が重要で、場所が重要なのではない。後味悪い訪問と感じたのは私だけか。無論、ガイドに問うたが、無言であった。



第三日目は、聖母マリアのエリザベト訪問教会でミサを捧げ、世界最古の都市と言われるエリコの町郊外にある主が悪魔の試練を受けた誘惑の山へ行った。この山へは、世界一低い場所にあるロープウェイを利用した。更にベツレヘムの聖誕教会と、エルサレムに戻ってイスラエル博物館を見学した。

第四日目、クムランからマサダ経由ティベリアアに向けエルサレムを出発した。途中、善きサマリア人の宿のチャペルでこの日のミサを捧げ、マサダへ向かう途中、この旅最大のアクシデントが発生した。何と、何台か前を走っていた回送中のバスが炎上し、舗装道路を塞ぎ、通行止めとなってしまったのだ。我々の乗るバスは大型故、迂回路を通るわけにもいかず、引き返すこととなった。第一回目の訪問時には行かなかったマサダの砦を見ることが出来なかったのは残念だが、あきらめるより他無い。旅程には無かった土産物屋で時間を潰し、クムラン教団の残した遺構を見て、世界一低い場所であるカリアで、一部の希望者のみ死海での浮遊体験を味わった。その後、ヨルダンとの国境線近くを北に貫く 90 号線を走って、夕方には、ティベリアアに着いた。



滞在五日目は、カペナウムのペトロの家跡に建つ船をイメージしたチャペルでミサを捧げ、山上の垂訓教会、ヤルデニットの洗礼場、5つのパンと2匹の魚の奇蹟の教会、ペトロ首位権教会を巡った。ヤルデニットに関し、巡礼者は、イエスが洗礼を受けた場所と信じて訪れるが、実際は単に「ヨルダン川の洗礼場所」とのみ言われている。

第六日目、主のご変容のタボル山へ行くため、7時過ぎにホテルを出発した。海拔マイナス210mから、585mまで、一気に800m近くを登って行く。まるで、六甲山に登ると同じだ。途中で、専用車に乗り換えなければ頂上まで行けない。2世紀にご変容の場所が、タボル山であるとの伝説が生まれ、AD326年聖ヘレナが、ここに教会と修道院を建てたが、イスラム教徒によって破壊された。19世紀になって再建されたものが現在残っている。正面ファサードには、マタイ17章のご変容部分がかかれていた。その後、MGDL（母音の打ち方によって、ミグダルとかマグダラと呼ばれる）のポート教会でミサを捧げた。更に、湖上遊覧を楽しんだ後、ギノザールキブツにあるイーガルアロンセンターでイエス時代の舟の遺物を見た。12年前に比し展示状態は改善されていた。



第七日目は、カナの葡萄酒の奇蹟の教会で、この日のミサを捧げた。12年前にもあった前のお土産屋でナルドの香油を見つけて購入したが、シールが旨くなく、漏れ出してしまった。封をしたままだけど未だに部屋に良い匂いを漂わせている。ここの聖堂には、聖バルトロマイの像や絵が多く意外であった。その後、ナザレの町へ入り、ギリシア正教とカトリックの受胎告知教会を訪問した。ギリシア正教では、水を汲みに行った井戸の傍で大天使ガブリエルに受胎の雄告知を受けたとされているが、カトリックではマリアの家（洞窟）で、告げられたとされている。その場所の祭壇には VERBUM CARO FACTVM EST（み言葉は人となり賜うた）の CARO の後に「ここ」という言葉「HIC」が挿入されていた。

大聖堂にあった世界各国から贈られた聖母子の絵は圧巻である。日本は、長谷川ルカ画伯の「華の聖母子」の絵が、最も目立つ場所に掲示されていた。ルカ4章に書かれている「イエスを突き落とそうとした崖」、ハルマゲドン（ハールメギドメギドの山）の紀元前10数世紀の遺跡を見て、テル・アビブへ向かった。最終日は、イスラエルの出国審査が厳しいとの情報より、早朝と言うよりほぼ真夜中の2時半頃、ロビーに集合して、テル・アビブ国際空港に向かった。帰路もパリ経由で、1月20日午前9時頃関西国際空港に無事帰着した。

ガイド曰く「イスラエルは少なくとも4回来なきゃ分からない。」と言われる2回目のイスラエル巡礼旅行が終了したが、前回よりはチョット分かったような……。やっぱり、後2回の訪問が必要なんやろうか？ 祭壇画の分析など興味は尽きないんやけど。

寄稿

誰もいない教会で

YS

留守番がてらやろうと思っていたものを忘れてきたので昨日(26日)M氏から「何か書いてよ」と言われたことを思い出し、台所にあったボールペンと裏紙B4を持って座りました。一人で暖房をするのは申し訳ないのでコーヒーを一杯入れさせて頂き、車からひざかけを引っぱり出してきました。今日はポストは空っぽ、ホッと一安心です。郵便の不在票が入っていたら連絡しなければなりませんからね。

先日、鹿児島教区の友人のところに遊びに行きました。鹿児島教区ではシノドスを推し進めるにあたり、信徒に50項目ものアンケートをとったそうです。1個2点で90点以上取ったら合格！…あ、これは運転免許！（笑）その中で教会に何を求める？という質問に対し、80%の人が「居場所」と答えたそうです。ここで昨日のパウロの書簡の内部分裂の話がちらっと脳裏をかすめました…今。

7年になるでしょうか。教会を離れていた私は戻ってきて、教会とは何か？について考え続けました。祈りの場？たしかに静かに瞑想するにはいい場所ですね。ミサ？そうです。一番大切です。小麦アレルギーでなければ皆で同じ食卓につくことができますね。でも私が出した結論は、イエス・キリストを通して天の父を主とする Family である、ということです。つまり、安心して来てもいい、居てもいい、弱ったら助け、一緒に食事をし、困ったら知恵を出し合う、「家」です。その「家」に恵まれず、さびしさに迷える、そういう人たちのための居場所なのです。今、ここの教会はただの集会所ですね。だって、平日誰もいないのですから…。教会に奉仕して本末転倒な私の家と同じです。ナンテコッタ！！

先週19日(日)は指宿でごミサにあずかりました。郡山司教様でした。

「神さまには夢があって、皆さんはその夢を実現させる道具ですよ」

なんてすてきな表現をなさる方でしょう！神さまは私たち一人一人に何を語りかけておられるのでしょうか？1人の人がこの1分間にできることなど、たかが知れています。でもその短い時間にも「ちょっと頼みたいことあんなんけど…」と神さまが声をかけられる。その小さな声に気付くことができれば、私の存在価値も肯定されるようで嬉しいのです。(ここ大事！)

ごミサのあとお茶とお菓子を信徒の方々と共に司教様を囲んでいただくその集まりに私もまぜて頂き、とても安心したことでした。

お昼、息子が帰って来るので家に戻りますね。



各委員長退任あいさつ

3月末で各委員会の委員長の任期が切れます。今期で交代される委員長さんの退任のあいさつをいただきました。

社会活動委員会 TT

この2年間、委員長をさせていただき、社会活動委員会の取り組みは委員会のメンバーだけではなく、多くの人達のご協力によって成り立っているということを強く感じました。

愛生園での奉仕活動、船員司牧活動、野菜の販売、炊き出しのおにぎり作りと現地でのお手伝い、また社会活動主催の講演会、勉強会、コンサート等の参加及びお手伝いと多岐に渡り貢献していただき、心より感謝致します。今後とも社会活動委員会を支援していただきますよう、宜しくお願い致します。

総務委員会 TI

総務委員会の役割は、

- 信徒台帳の整理・管理、
 - 地区清掃等、近隣町内会との連絡・調整、
 - 営繕関係の調整・保守点検・改修、
 - 教会内の消耗品、事務用品の調達・交換、
- 等です。

4年間委員長を務めさせて頂きましたが、その間、皆様のご協力を頂き、ありがとうございました。これからも、お気づきになったことなど、ご遠慮なく総務委員会に仰って頂き、新委員長のもと、より良い環境の維持に努めて参りたいと思います。どうぞよろしくお願いいたします。

広報委員会 TH

当初の2年任期ということにも関わらず、委員長を4年間務めました。その間、皆さんには広報紙「きたすま」に原稿をお寄せくださり、ありがとうございました。

広報活動も最近は紙ベースのみならず、インターネットでの活動も必要になってきました。広報紙とともにそちらの方面の充実も図っていきたいと思っています。どうか、今後ともご協力ください。

皆さま、長い間ご苦労さまでした。

残りの方については次号に掲載いたします。





典礼奉仕者表

典礼委員会

月日 主日	司式	先唱者	オルガン	聖書朗読	答 唱	共同祈願	ミサ準備	聖体奉仕	備考
4・5(日) 10:00 受難の主日	Fr.中川					6A 地区			枝の祝福
4・9(木) 18:30 聖木曜日	Fr.高橋					評議員会			洗足式
4・10(金)18:30 聖金曜日	Fr.高橋					(盛式共同祈願)			十字架の崇敬
4・11(金)18:30 復活徹夜祭	Fr.中川					評議員会			洗礼式
4・12(日)10:00 復活の主日	Fr.高橋					6A 地区			
4・19(日)10:00 神のいつくしみの主日	Fr.?					1,4 地区			
4・26(日)10:00 復活節第3主日	Fr.?					1,4 地区			子供と共に捧げるミサ

〔註〕 ①担当に変更のある場合は、お聖堂入口の掲示表を赤ボールペンでご修正下さい。
 ②聖体奉仕は司祭から指示のある場合のみご対応下さい

ミサ、集会の中止は 4/30 まで延長されました。

編 集 後 記

2月26日灰の水曜日を迎え四旬節に入った途端、公開のミサは中止という前代未聞の措置が発表され、主日も週日も教会は無人という異例の状態となってしまった。それからひと月、事態はさらに進み県内の感染者は113人(3/23)、月末までは不要不急の往来の自粛が呼びかけられることとなった。4月以降のミサの開催もどうなることか。東京教区では4月以降もミサ中止の継続が発表された。(大阪は4/8まで延長)

このような時、頼りになるのはインターネット、様々なHPやブログに色々な情報が満載されている。東京教区では主日のミサがネット中継され、大阪教区でも試みられている。教皇様の異例の呼びかけもメールやSNSを使って伝わっていく。思いがけず、新しい形の宣教司牧が実現していく。

その中で当教会も紙だけでなくメールやホームページの活用をもっと進めないと実感し反省しきり。若い方の参加と助力も願う次第である。(KJH)

マンスリースケジュール4月



日・曜日

2020

4/1	水			
2	木		オカリナ(13~15)卓球(13~17)	
3	金		十字架の道行13:00~	主日の聖書を読む会(14:00~)
4	土	教会清掃(第6A地区)	英語クラブ(14~)	ロザリオの祈り(16:15~)
5	日	受難の主日(枝の主日)	ミサ10:00~	典礼委員会
6	月		卓球(13~17)	
7	火	ミサ10:30~	信仰講座11:00~	病者高齢者訪問(13:30~) 高齢者支援委員会
8	水			男の料理教室(17~)
9	木	聖木曜日	ミサ18:30~	卓球(13~17)
10	金	聖金曜日	ミサ18:30~	主日の聖書を読む会(14:00~)
11	土	復活徹夜祭	ミサ18:30~	英語クラブ(14~) ロザリオの祈り(16:15~)
12	日	復活の主日	ミサ10:00~	
13	月		卓球(13~17)	
14	火	ミサ10:30~	社会活動センター炊き出し(9:30~)	信仰講座11:00~ 入門講座13:00~
15	水			
16	木		オカリナ(13~15)卓球(13~17)	
17	金			主日の聖書を読む会(14:00~)
18	土	教会清掃(第1・4地区)	英語クラブ(14~)	ロザリオの祈り(16:15~)
19	日	復活節第2主日	ミサ10:00~	
20	月		卓球(13~17)	
21	火	ミサ10:30~	旧約聖書講座11:00~	病者高齢者訪問(13:30~)
22	水			
23	木		卓球(13~17)	
24	金			主日の聖書を読む会(14:00~)
25	土	教会清掃なし	広報委員会	ロザリオの祈り(16:15~)
26	日	復活節第3主日	ミサ10:00~	青少年委員会 共に歩む旅
27	月		卓球(13~17)	
28	火	ミサ10:30~	主日の福音の分かち合い11:00~	
29	水			
30	木		卓球(13~17)	
5/1	金			主日の聖書を読む会(14:00~)
2	土	教会清掃(第2地区)	英語クラブ(14~)	ロザリオの祈り(16:15~)
3	日	復活節第4主日	ミサ10:00~	典礼委員会

★今月のお茶当番は第1・4地区です★

カトリック北須磨教会ホームページ <http://cathkitasuma.web.fc2.com>

葬儀用電話の運用は終了しました。緊急時は高橋神父(090-6329-5709)にご連絡ください。

本誌作成時点でミサ、集会の中止は [] です。以降は例年ベースで記載しています。
今後の教会HP、教区HP;<http://www.osaka.catholic.jp/index.html> にご注意ください。